上四元修氏瑞宝単光章受章祝賀会

技能士育成等に功績

270人が栄誉を称える

上四元修氏（鹿児島建築工友会会長、㈲上四元工務店社長）の瑞宝単光章受章祝賀会は2日、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで開かれた。関係者約270人が出席し、建築業の技能士育成等の功績を称えるとともに、一層の活躍を祈念した。

業界にとって大きな喜び――と称える森山会長＝鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで

冒頭、発起人を代表し森山清隆鹿児島市職業訓練協会長が「受章は業界にとっても大きな喜び。その豊富な経験を生かし業界発展のためにご尽力いただきたい」と挨拶。

続いて、来賓の原田耕蔵県商工観光労働部長、森博幸鹿児島市長、保岡興治、森山裕の両衆議、堅山博美県職業能力開発協会長、川畑俊彦県建設業協会長、上山一吉県建築協会長、増留貴朗県議が、それぞれの立場から祝辞を寄せた。

続いて、前田政敏鹿児島建築工友会副会長が上福元氏の経歴を紹介。関係団体長や㈲上四元工務店従業員一同からの記念品贈呈後、孫の上四元めぐみちゃんと秋山千亜紀ちゃんから花束が贈られた。これを受けて上四元氏は「受章は皆様のご支援あってのことと深く感謝いたします。これを励みに今後も、業界発展のために努力してまいりたい」と謝辞を述べた。

このあと、上門秀彦鹿児島市議会議長が乾杯の音頭を取り、祝宴に入った。出席者は和やかに歓談しながら、上四元氏の栄誉を称えていた。

赤丸信幸氏受賞祝賀会

さらなる活躍祈念

1月19、20日に行われた建築物環境衛生管理全国大会で、ビル管理教育センター会長表彰を受賞した県ビルメンテナンス協会（野元一喜会長）の赤丸信幸氏（㈲エムケイビル技研社長）の祝賀会が1日、鹿児島市のいわさきホテル・ザビエル450で開かれた。出席した業界関係者約200人が、賛するとともに今後の活躍を祈念した。

祝賀会では、初めに発起人を代表して野元会長が同氏のこれまでの功績などを紹介。「全国で約80万人いる協会員の中から5人しか選ばれていない同表彰を受賞されたことは、本人はもとより業界関係者においても誠に喜ばしいことです。今後も業界発展のために、より一層のご活躍、ご指導をお願い致します」と挨拶。

続いて、青木博全国ビルメンテナンス協会九州地区本部長、柴立鉄彦県ビルメンテナンス協会政治連盟議員懇談会長、県選出の国会議員（代理）らが「業界の発展のためにますますのご尽力を」などとそれぞれ祝辞を述べた。

これを受け、赤丸氏は「受賞は関係各位皆様のご支援あってのことと深く感謝致します。今後もこの受賞を励みに、微力ではありますが業界発展のために尽力してまいりたい」と謝辞を述べた後、蛭川政秋協会理事らが花束や記念品を贈呈した。

このあと、川畑英樹県ビルメンテナンス協同組合理事長の祝杯発声で

業界発展のために尽力したい――と謝辞を述べる赤丸氏＝鹿児島

県建築士会

建築士のための指定講習会

知識と技術向上へ

県建築士会（守真和弘会長）は2日、鹿児島市の県建設センターで「国土交通大臣・知事指定―建築士のための指定講習会」を開き、会員ら約240人が参加、改正基準法及び同施行令、アスベスト対策、木造住宅の耐震性などについて知識を深めた。

会の冒頭、守真会長が「建築士に対する信頼が大きく揺らぐ中、地域のニーズに応えるためにも常に知識と技術の向上に努めていかなければならない」などと挨拶。

講習会では、県土木部建築課の松阪清美技術補佐が「法・制度の知識編」として、既存不適格建築物に関する勧告・是正命令制度の創設、規制の合理化など法改正の動向や契約の対処などについてテキストに基づいて説明。また、技術の知識編として㈱アシスト設計の今村裕社長が「欠陥建物を造らないために」と題してそれぞれ解説。出席者はメモを取りながら熱心に聴き入っていた。

このほか、藤宮宏文専務理事によるCPD制度及び専攻建築士制度についての説明も行われた。

熱心に聴講する参加者＝鹿児島市の県建設センターで

環境管理・監査制度対応講習会

環境への知識深める

かごしま産業支援センター

かごしま産業支援センターは2日、鹿児島市のベイサイドガーデンで環境管理・監査制度対応講習会を開いた。関係者ら約120人が参加して、環境マネジメントシステム（EMS）の認証取得に関して知識を深めた。

同講習会は、各方面で急速に普及しつつある環境管理・監査制度に関するISO14001の取得を予定している事業場を対象に行われた。当日は、かごしま産業支援センターの竹中統一郎情報支援課長の挨拶の後、奥田胤明元中小企業基盤整備機構経営支援専門員を講師に講習会を行った。

内容は、EMS構築の意義及び認証取得の必要性を解説。併せて、構築手順、審査制度、審査機関の選定についても概説した。その中で、奥田氏は「EMS取得のメリットは企業のイメージアップ、従業員の意識向上、環境負荷低減、コストダウン、内部管理の充実が図れる」と語った。さらに、取得済みの企業に必要な改訂規格への対応ポイントなども分かりやすく説明した。

参加者らは、環境に配慮した経営を目指し、メモを取るなど真剣に聴講していた。

真剣に聴講する参加者＝鹿児島市のベイサイドガーデンで

広域営農団地

農道整備伊佐地区完工式

200人が盛大に祝う

伊佐地区広域営農団地農道整備事業（黄金ロード）の完工式が2日、湧水町で開かれ、伊佐地区広域農道推進協議会長の隈元新大口市長ら約200人が出席して盛大に祝った。

神事では、出席者が玉ぐしを捧げて安全を祈願。引き続き神園勝喜菱刈町長、有馬純彦県加治木耕地事務所長、藤井和三郎県農政部長が玉ぐしを捧げた。

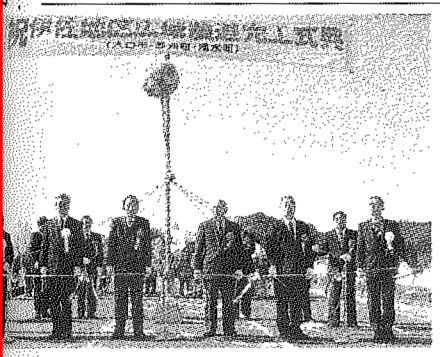
農道整備事業（黄金ロード）の完工式が2日、湧水町で開かれ、伊佐地区広域農道推進協議会長の隈元新大口市長ら約200人が出席して盛大に祝った。

神事では、出席者が玉ぐしを捧げて安全を祈願。引き続き神園勝喜菱刈町長、有馬純彦県加治木耕地事務所長、藤井和三郎県加治木耕地事務所長、藤井和三郎県農政部長が玉ぐしを捧げた。

その後、隈元市長が「個性ある地域づくり目指して、農道が活用されることを願う」と挨拶。平山正己県大口耕地事務所長の事業経過報告の後、小里泰弘衆議（代読）、伊藤祐一郎県知事（代読）が祝辞を述べた。これに応えて米満重満湧水町長が「24年以上前の起工式に出席された方々の思いを引き継ぎ、地元で取り組んできた事業が達成した」とお礼の言葉を述べた。

最後に山田裕章県農政部長、池畑憲一県議、河野辰男大口市議長、山下親志菱刈町議長、橋口昌博湧水町議長らによるテープカットとくす玉割り合わせ、二ツ葉保育園の園児30人が色とりどりの風船を飛ばすと会場は大きな拍手に包まれた。

同事業は昭和57年着工、18年1月完工。湧水町北方を起点に大口市日東まで、総延長約30㎞（農水省施工約25㎞、国交省施工約5㎞）。総事業費約110億円。



伊集院耕地事務所等

地域住民らとサクラ等植樹

工事跡地を集落の憩いの景観として生かしたい―と県伊集院耕地事務所などはこのほど、日置市日吉町の樗木地区で植樹会を実施した。

当日は、同事務所職員2人、日置市職員3人、ため池整備を担当した㈲外山組の社員3人、地域住民12人の計20人が参加。㈲外山組がソメイヨシノ10本、地域住民らがスイセンやヒガンバナの苗を持ち寄り、スコップやシャベルを使って約半日かけて植栽した。

同事務所では、17年7月から同12月にかけて同町山田地区にある永田池の改修工事を実施した。その際、堤体の盛土材となる刃金土を樗木地区の共同墓地跡地から流用したが、工事によって跡地が殺風景になっていた。

そこで、同事業担当の佐古陽子農業土木技師は、同地区では日ごろから住民らが協力して道路わきにサクラやスイセンなどを植える活動を行っていることに着目、今回の植樹会を提案した。

作業後、㈲外山組の竹脇學社長は「地域住民との交流が図れて、とても良い経験になった」などと語った。

サクラ等を植樹する参加者